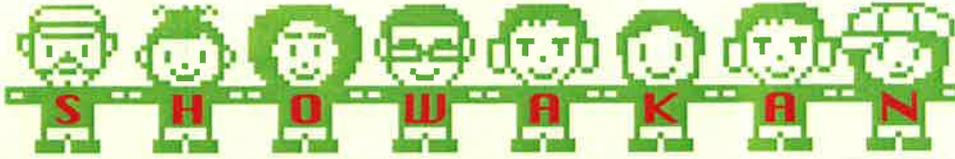


昭和館だより



〒102-0074
東京都千代田区九段南1-6-1
☎03-3222-2577
<http://www.showakan.go.jp>

戦後六十年、次代を担う子どもたちに伝えたい「昭和の記憶」があります。

今年、先の大戦が終結して六十年が経つ節目の年です。数多くの命を奪い、街を焦土

に変えた戦争の悲惨さと虚しさ、焼跡から今日の平和と繁栄を築き上げた復興の歩みを、

次代を担う子どもたちに語り継ぐことが、当時の記憶が風化する中で、ますます重要になっていきます。

ナーには展示内容についての「解説シート」が置かれ、自由に取ることが出来ます。また、音声ガイドの無料貸出も行っていきます。**映像・音響室（五階）**では、タッチパネルやキーボードによる検索端末を使い、戦中・戦後の記録写真や動画、ニュース映画、音楽、各種データペーパーなどを閲覧することが出来ます。**図書室（四階）**では、当



6階常設展示室「子どもたちの戦後」



1階で疎開生活のジオラマを展示しています。



7階常設展示室「銃後の備えと空襲」

戦中・戦後の国民生活上の労苦を伝える昭和館は、平成十六年度に、五百七十七校・二七、一六二人の小・中学生をお迎えしました。（数字は常設展示室の有料入場者数）
小学生について見ると、来館校の約八十三％が埼玉・千葉・東京・神奈川の近隣校ですが、中学生は来館校が全国に広がっており、一都三県以外の学校の割合が約六十六％にのぼっています。当時の労苦を伝える昭和館の趣旨が、全国の学校関係者の方々に知られた結果と考えられます。

充実した学習施設、昼食場所や駐車場の手配も

昭和十年頃から昭和三十年頃までの生活資料などを展示する**常設展示室（七・六階）**では、日中戦争、太平洋戦争と続いた総力戦の影響が、子どもたちにも身近に及んだ戦中・戦後の労苦を伝えています。各コー



図書室では、調べ学習のお手伝いをします。（4階）



映像・音響室には使いやすい検索端末があります。（5階）

この一冊

< 図書資料 >



読む日本国憲法 (現代人文社)

日本国憲法は昭和二十二年に公布され、その年の八月、文部省(当時)が中学生向けに「あたらしい憲法のはなし」を発行しました。

その日本国憲法と「あたらしい憲法のはなし」が一冊になっている本です。図書室で閲覧することができます。



昭和館は、戦中・戦後のくらしを伝える国立の施設です。(左:昭和館 右:九段会館)

刷版、昭和時代全般に関する書籍などを揃え、カウンターでは生徒さんが資料を探す際のお手伝いをしています。

当館では、説明員による案内も行っており、学校団体には昼食場所を提供しています。また、学校団体はバスも無料で駐車できます。(事前のご予約をお願いします。)

平和への誓いを新たに、総合学習、社会科学見学、修学旅行などの見学先として、昭和館をぜひご利用ください。職員一同、皆様のご来館を心からお待ちしております。

昭和館では、来館した小・中学生の見学作文コンクールを行っています。最優秀作品には、厚生労働大臣賞が授与されます。昭和館を見学した感想を、四百字つめ原稿用紙で二〜三枚程度にまとめてみませんか。見学した時の記憶がよみがえってくることでしょ。詳しい内容は、当館に資料をご請求ください。

昭和館見学作文コンクール



戦中・戦後のニュース映画を上映する「昭和館懐かしのニュースシアター」(1階)

1学期の主なご来館校

國學院久我山中学校 3年生	203名
都立拜島高等学校 2年生	192名
大妻多摩中学校 3年生	173名
川崎市立東橋中学校 2年生	145名
神戸市立飛松中学校 3年生	141名
東京学芸大学附属大泉中学校 1年生	128名
富士宮市立黒田小学校 6年生	120名
小諸市立美南が丘小学校 6年生	130名
富山市立城山中学校 3年生	113名

(人数順)



授業でも使えるパンフレットを差し上げています。



今日の一枚

写真資料



浅草の子供みこし

(昭和二十四年)

この写真はアメリカ人が撮影して、外国の新聞社に紹介したものです。撮影者は日本の「おみこし」を知らなかったらしく、写真の説明には「携帯神社」と書いてあります。よく考えた名前だと思いませんか。

ご意見をお寄せください

本紙を読まれたご感想、昭和館へのご意見、また実際に見学された際のご感想等を下記にお送りください。今後の編集と、館の運営の参考にさせていただきます。

〒102-0074
東京都千代田区九段南1-6-1
昭和館 総務課
ファックス 03-3222-2575